

平成 22 年度 決算の概要

平成 22 年度決算について、6 月 20 日開催の第 143 回組合会で承認されましたので、その概要をお知らせします。

総括事項

組合員数及び被扶養者数とも、平成 21 年度末と比較すると組合員で 305 人、被扶養者で 636 人の減少となりました。また、この組合員数の減少に加え、人事院勧告等に準じて給料等が引き下げられたことから、掛金等の標準となる給料月額や期末手当等の額についても大幅な減少となりました。



■ 地方公共団体の数

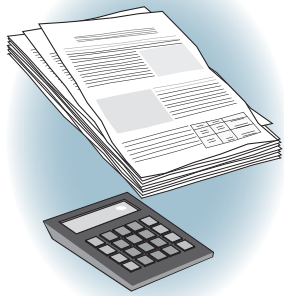
市	12
町	15
村	12
一部事務組合等	32
計	71

■ 組合員等の状況

種別	組合員数 (人)	被扶養者数 (人)	適用 区分	給料月額 (円)	平均給 料月額 (円)	期末手当等年度 累計額 (円)
一般組合員 (うち特別職)	12,282 (85)	14,410 (89)	長期	4,025,128,585 (47,160,200)	327,726 (554,826)	17,812,747,000 (178,308,000)
			短期	4,031,595,295 (50,159,000)	328,252 (590,106)	17,821,103,000 (184,200,000)
市町村長組合員	36	40	長期	21,912,600	608,683	87,514,000
			短期	27,151,800	754,217	100,932,000
特定消防組合員	1,694	3,099	長期	524,736,553	309,762	2,377,214,000
			短期	524,736,553	309,762	2,377,214,000
市町村長 長期組合員 ^{注1}	2	0	長期	1,240,000	620,000	4,574,000
			短期	1,320,000	660,000	4,574,000
任意継続組合員	359	325	短期	104,370,914	290,727	-
合計 《前年度対比》	14,373 《▲305》	17,874 《▲636》	長期	4,573,017,738 《▲122,438,498》	-	20,282,049,000 《▲1,607,029,000》
			短期	4,689,174,562 《▲134,500,578》	-	20,303,823,000 《▲1,624,499,000》

組合員 1 人当たりの被扶養者数 (扶養率) = 1.24 人 《前年度対比 ▲0.02 人》

注 1 : 「市町村長長期組合員」とは、75 歳以上の市町村長組合員をいう。



短期経理

収入合計 10,556,506 千円 - 支出合計 10,365,935 千円 = 190,571 千円

(内訳 当期短期利益金 107,633 千円, 当期介護利益金 82,938 千円)

この経理は、組合員や被扶養者の皆さんの病気やケガ等による医療費等の給付などを行う経理です。

平成 22 年度は、財源率を引き上げさせていただいた結果、収入は前年度から約 3 億 596 万円の増、支出は拠出金等の増加などにより約 3 億 9168 万円の増となりますが、収支の結果、標記の当期短期利益金と当期介護利益金を生じました。

この当期短期利益金は、前年度より繰り越した短期繰越欠損金に充当し、残額を欠損金補てん積立金へ積み立てました。

また、当期介護利益金は、前年度より繰り越した介護繰越欠損金に充当し、残額を介護積立金に積み立てました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金金： 64,407 千円
介護積立金： 81,591 千円

◆ 貸借対照表 (要旨)

単位：千円

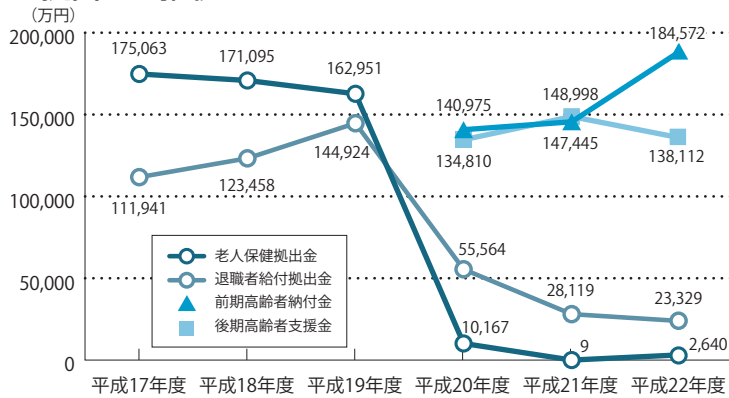
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,291,915	流動負債	383,391
		固定負債	762,526
		負債合計	1,145,917
		剰余金	145,998
		純資産合計	145,998
資産合計	1,291,915	負債・純資産合計	1,291,915

◆ 損益計算書 (要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	9,576,824 (9,576,824)	経常収益 (事業収益)	9,790,304 (8,905,872)
繰入金	26,512	(補助金等収入)	(874,324)
次年度繰越 支払準備金	762,527	(事業外収益)	(10,108)
特別損失	72	前年度繰越 支払準備金	766,141
当期利益金	190,571	特別利益	61
合計	10,556,506	合計	10,556,506

◆ 拠出金の推移



◆ 平成22年度医療給付実績(現金給付を除く)

	件数 (件)		日数 (日)		金額 (万円)	
		前年度比		前年度比		前年度比
組合員本人	127,213	▲ 3,350	238,591	4,543	179,392	▲ 180
家族	152,040	▲ 7,611	284,664	12,768	246,546	▲ 634
合計	279,253	▲ 10,961	523,255	17,311	425,938	▲ 814

長期経理

収入合計 19,484,690 千円 - 支出合計 19,484,690 千円 = 0 千円

この経理は、公的年金に係る掛金・負担金を処理する経理です。平成19年度より年金給付事業については全国市町村職員共済組合連合会（以下「市町村連合会」という。）が一元的に処理することとなりました。よって本組合では、年金給付のための掛金・負担金を徴収し、その全額を市町村連合会へ払い込んでいます。

財源率が段階的に引き上げられていることから、収入・支出共に、前年度から約2億3460万円の増となりました。

◆ 貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	1,069,911	流動負債	1,069,911
資産合計	1,069,911	負債・純資産合計	1,069,911

◆ 損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	19,484,690 (19,484,690)	経常収益 (事業収入)	19,484,690 (19,484,690)
合計	19,484,690	合計	19,484,690

預託金管理経理

収入合計 247,892 千円 - 支出合計 247,892 千円 = 0 千円

この経理は、公的年金資金の一部の預託を受け、その管理・運用を行う経理です。

長期経理同様、公的年金資金についても平成19年度より市町村連合会に集約されていますが、その資金のうち、主に貸付経理への貸付資金や縁故地方債の引受資金について本組合が預託を受け、その管理・運用を行っています。

収入はすべて預託金の運用益となり、その全額を支出として市町村連合会へ払い込んでいます。なお、その預託金が減少したことにより、収入・支出共に、前年度から約6211万円の減となりました。

◆ 貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	496,404	固定負債	10,432,809
固定資産	9,936,405		
資産合計	10,432,809	負債・純資産合計	10,432,809

◆ 損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	247,892 (247,892)	経常収益 (運用収入)	247,892 (247,892)
合計	247,892	合計	247,892

業務経理

収入合計 227,500 千円 - 支出合計 188,229 千円 = 39,271 千円
(当期利益金)

この経理は、本組合の短期給付事業及び長期給付事業に要する人件費や事務費等、また全体の管理運営上の諸経費などの事務コストを処理する経理です。

財源は、地方公共団体から徴収した事務費負担金と、市町村連合会の長期経理からの繰入金のうちから市町村連合会より措置される交付金と、短期経理からの繰入金です。

収入は、国から地方公共団体へ財源措置されています事務費負担金の単価が引き上げられたことなどにより、前年度から約1163万円の増、支出は事務コストの圧縮を図ったことなどにより約1016万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は前年度より繰り越した積立金と合わせ、翌年度に繰り越すこととなりました。

◀ 剰余金内訳 ▶

積立金： 131,881 千円

◆ 貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	234,318	流動負債	7,604
固定資産	6,248	固定負債	101,081
		負債合計	108,685
		剰余金	131,881
		純資産合計	131,881
資産合計	240,566	負債・純資産合計	240,566

◆ 損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	188,229 (188,229)	経常収益 (事業収益)	200,987 (143,153)
当期利益金	39,271	(補助金等収入)	(57,667)
		(事業外収益)	(167)
		繰入金	26,513
合計	227,500	合計	227,500

保健経理

収入合計 344,047 千円 - 支出合計 287,720 千円 = 56,327 千円

(当期利益金)

この経理は、組合員やそのご家族の皆さんの健康管理に役立てていただくため、成人病健診、人間ドック、保健講座、助成事業、特定健康診査、特定保健指導などを行う経理です。

収入は組合員数の減少などにより前年度から約 1242 万円の減、支出は健診事業の一部内容変更などにより約 1399 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は、前年度より繰り越した欠損金補てん積立金から取り崩した約 5 万円（所要額超過分）と合わせて積立金へ積み立てました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 360 千円
積立金： 521,350 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	586,982	流動負債	28,855
固定資産	7,202	固定負債	43,619
		負債合計	72,474
		剰余金	521,710
		純資産合計	521,710
資産合計	594,184	負債・純資産合計	594,184

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	287,701 (287,701)	経常収益 (事業収益)	344,046 (337,346)
特別損失	19	(補助金等収入)	(5,957)
当期利益金	56,327	(事業外収益)	(743)
		特別利益	1
合計	344,047	合計	344,047

宿泊経理

収入合計 217 千円 - 支出合計 17,710 千円 = ▲17,493 千円

(当期損失金)

この経理は、宿泊施設を運営するための経理でしたが、平成 21 年 3 月末日をもって事業を廃止したことにより、売却等による処分が完了するまでの間の土地・建物等の所有に伴う維持管理を行う経理です。

収入は前年度から約 146 万円の減、支出は約 328 万円の減となり、収支の結果、標記の当期損失金を生じました。

この当期損失金は前年度より繰り越した積立金より取り崩して補てんし、なお、欠損金が生じるため前年度より繰り越した欠損金補てん積立金を取り崩して補てんしました。

《剰余金内訳》

別途積立金： 390,000 千円
欠損金補てん積立金： 45,168 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	24,016	流動負債	24
固定資産	411,176	負債合計	24
		剰余金	435,168
		純資産合計	435,168
資産合計	435,192	負債・純資産合計	435,192

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	17,710 (17,710)	経常収益 (事業収益)	217 (200)
		(事業外収益)	(17)
		当期損失金	17,493
合計	17,710	合計	17,710

貯金経理

収入合計 1,004,005 千円 - 支出合計 878,348 千円 = 125,657 千円

(当期利益金)

この経理は、組合員の皆さんからお預かりをした組合員貯金を、安全かつ効率的に運用し、利息として還元する経理です。

収入は債券運用環境として低金利が続いていることなどにより前年度から約 1 億 1084 万円の減、支出は事務コストの削減などにより約 844 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は前年度より繰り越した欠損金補てん積立金と合わせ、翌年度へ繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 2,874,523 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	4,291,294	流動負債	64,969,976
固定資産	63,603,331	固定負債	50,126
		負債合計	65,020,102
		剰余金	2,874,523
		純資産合計	2,874,523
資産合計	67,894,625	負債・純資産合計	67,894,625

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	878,348 (878,348)	経常収益 (運用収入)	1,004,005 (1,004,005)
当期利益金	125,657		
合計	1,004,005	合計	1,004,005

◆平成 22 年度末の貯金の状況 <>内は前年度対比を表す。

貯金総額	貯金者数	加入率	支払利率
64,888,758 千円 <<▲1,456,735 千円>>	9,839 人 <<▲292 人>>	68.45% <<▲0.57%>>	平成 22 年 4 月 1 日より 年 1.2%

貸付経理

収入合計 284,955 千円 - 支出合計 278,247 千円 = 6,708 千円

(当期利益金)

この経理は、組合員の皆さんが資金を必要とするときに、普通貸付・住宅貸付・入学貸付・修学貸付などの融資を行う経理です。

財源は、預託金管理経理及び短期経理からの借入金です。

収入は貸付金の減少に伴う利息収入の減少などにより前年度から約 7350 万円の減、支出についても貸付金の減少に伴う支払利息の減少などにより約 9183 万円の減となり、収支の結果、標記の当期利益金を生じました。

この当期利益金は、前年度より繰り越した欠損金補てん積立金と合わせ、翌年度へ繰り越すこととなりました。

《剰余金内訳》

欠損金補てん積立金： 115,197 千円

◆貸借対照表(要旨)

単位：千円

科目	金額	科目	金額
流動資産	694,770	流動負債	273
固定資産	8,967,056	固定負債	9,546,356
		負債合計	9,546,629
		剰余金	115,197
		純資産合計	115,197
資産合計	9,661,826	負債・純資産合計	9,661,826

◆損益計算書(要旨)

単位：千円

損失	金額	利益	金額
経常費用 (事業費用)	278,247 (278,247)	経常収益 (事業収益)	284,955 (261,044)
当期利益金	6,708	(補助金等収入) (事業外収益)	(23,529) (382)
合計	284,955	合計	284,955

◆平成 22 年度末の貸付金の状況 ◀ ▶内は前年度対比を表す。

貸付総額	貸付件数	主な貸付金の利率
8,962,436 千円◀▲1,519,843 千円▶	4,186 件◀▲281 件▶	普通・住宅・特別：年 2.66% 災害：年 2.22%

平成23年度 年間スケジュール予定表

スケジュール	開催予定日	担当課	対象者	備考
被扶養者認定取り扱い等の見直しに係る説明会 共済事業説明会	7月22日	保険課 総務課	共済事務担当者	会場：奈良県市町村会館 8階大研修室(橿原市)
退職予定者等年金相談会	8月11日	年金課	58歳以上の希望者	会場：大淀町あらかしホール 2階視聴覚室(大淀町)
退職予定者等年金相談会	8月18日	年金課	58歳以上の希望者	会場：生駒市コミュニティセンター 4階会議室(生駒市)
退職予定者等年金相談会	9月1日	年金課	58歳以上の希望者	会場：奈良県社会教育センター 1階視聴覚室(葛城市)
退職予定者等年金相談会	9月14日	年金課	58歳以上の希望者	会場：王寺町やわらぎ会館 3階小会議室1(王寺町)
食生活健康講座	9月16日	福祉課	組合員 及び 組合員の配偶者	会場：畿央大学 定員：40名 p.14 参照
退職予定者等年金相談会	10月6日	年金課	58歳以上の希望者	会場：天理市立中央公民館 3階中会議室(天理市)
ライフプランセミナー	10月14日	福祉課	50歳以上の組合員	会場：奈良県市町村会館 8階大研修室(橿原市) p.14 参照
退職予定者等年金相談会	10月25日	年金課	58歳以上の希望者	会場：まほろばセンター 2階第4研修室(桜井市)
ライフプランセミナー	10月28日	福祉課	50歳以上の組合員	会場：奈良県市町村会館 8階大研修室(橿原市) p.14 参照
退職予定者等年金相談会	11月9日	年金課	58歳以上の希望者	会場：猿沢荘3階 わかくさ(奈良市)
健康づくり教室(第1回)	11月1日	福祉課	組合員	会場：奈良県社会福祉総合センター(橿原市)
健康づくり教室(第2回)	11月16日	福祉課	組合員	会場：奈良県社会福祉総合センター(橿原市)
退職予定者等年金相談会	11月24日	年金課	58歳以上の希望者	会場：奈良県産業会館 5階大会議室(大和高田市)
退職予定者等年金相談会	12月14日	年金課	58歳以上の希望者	会場：五條市立中央公民館 3階大会議室(五條市)
退職予定者等年金相談会	12月20日	年金課	58歳以上の希望者	会場：橿原文化会館 第1会議室(橿原市)

※退職予定者等年金相談会についてのご案内は「すこやか4月号」をご覧ください。

※上記は開催予定です。正確な日時や参加申込等の詳細につきましては随時各所属所に通知しております。